

第8回（平成21年2月） ≪ 択一式試験問題解答 ≫

問1	4	問11	2	問21	2	問31	3	問41	3
問2	3	問12	1	問22	2	問32	3	問42	1
問3	4	問13	2	問23	3	問33	4	問43	1
問4	3	問14	3	問24	1	問34	2	問44	2
問5	3	問15	2	問25	1	問35	2	問45	1
問6	3	問16	3	問26	1	問36	1	問46	3
問7	1	問17	3	問27	1	問37	3	問47	2
問8	4	問18	4	問28	4	問38	4	問48	1
問9	1	問19	2	問29	4	問39	1	問49	4
問10	4	問20	2	問30	3	問40	2	問50	4

第8回（平成21年2月） ≪ 記述式試験問題解答 ≫

【問題1】 模範解答：

$$\text{計算式 } A = 12 / \sqrt{36} = 2 \text{ (mm/} \sqrt{\text{年}} \text{)} \quad C100 = 2 \times \sqrt{100} = 20 \text{ mm}$$

答え $C100 = 20 \text{ mm}$

【問題2】 解答例

長所：以下の7点のうちいずれか列挙してあれば宜しいものとする

- ①圧縮強度が高い
- ②剛性が高い
- ③成形性が良い
- ④経済性に優れる
- ⑤材料を得やすい
- ⑥水により簡単に硬化する
- ⑦耐火性がある

短所：以下5点のうちいずれか列挙してあれば宜しいものとする

- ①引っ張り強度が小さい（低い）
- ②ひび割れが生じやすい
- ③重量が大きい
- ④解体・廃棄が困難
- ⑤まだ固まらない状態の性質が施工性に大きく影響する

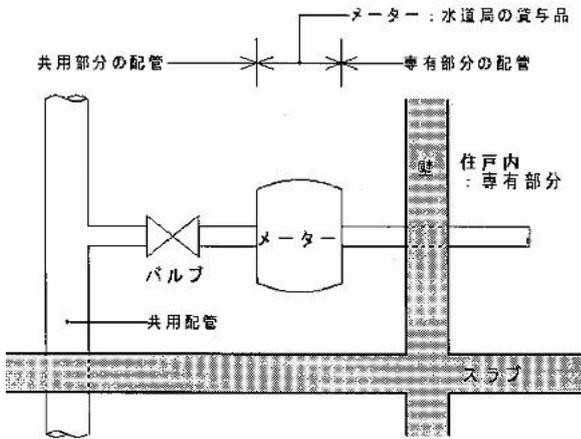
【問題3】

①	②	③	④	⑤
オ	ウ	コ	カ	エ

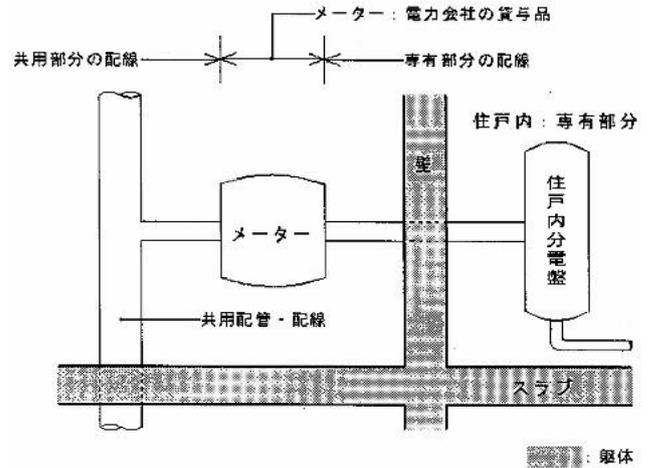
【問題4】

①	②	③	④	⑤
キ	ケ	コ	ウ	ク

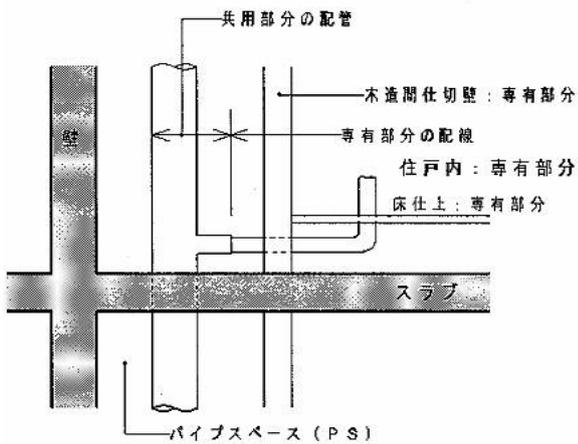
【問題5】 解答例



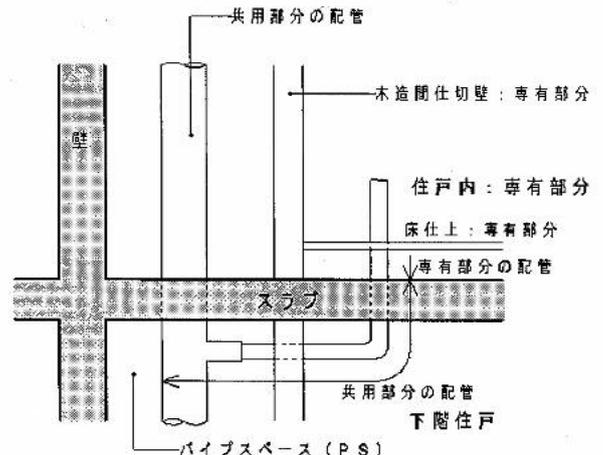
給水管の区分（断面略図）



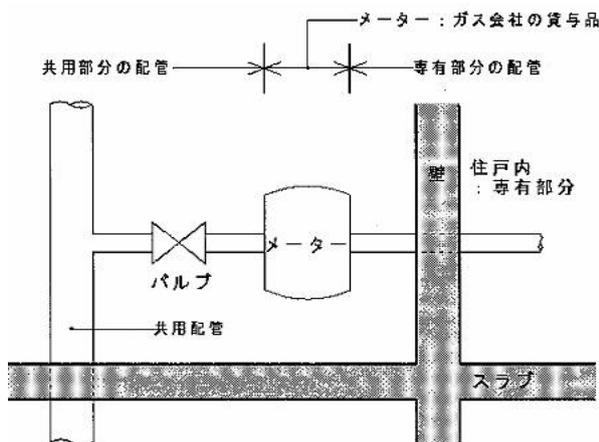
電気の区分（断面略図）



排水管の区分（断面略図）
（スラブ上配管の場合）



排水管の区分（断面略図）
（スラブ下配管の場合）



ガス管の区分（断面略図）

第7回（平成20年2月） << 択一式試験問題解答 >>

問1	1	問11	2	問21	3	問31	2	問41	4
問2	3	問12	1	問22	1	問32	3	問42	3
問3	3	問13	2	問23	2	問33	1	問43	2
問4	1	問14	3	問24	4	問34	3	問44	4
問5	3	問15	4	問25	3	問35	4	問45	3
問6	2	問16	4	問26	4	問36	1	問46	4
問7	4	問17	2	問27	3	問37	2	問47	4
問8	2	問18	1	問28	1	問38	2	問48	3
問9	4	問19	1	問29	4	問39	3	問49	1
問10	4	問20	1	問30	2	問40	1	問50	4

第7回（平成20年2月） << 記述式試験問題解答 >>

【問題1】 解答例：

当該マンションは、海岸に近接していることから、飛来塩分の影響を考慮し、コンクリート中の塩化物イオン量の測定試験を行った。その、試験結果のグラフから、コンクリート表層部分に鉄筋の発錆の危険性が示唆される限界塩化物イオン量 1.2kg/?以上の数値が確認された。しかし、配筋の設計かぶり厚さは一般的に外壁面で30mm以上となっているため、適正なかぶり厚さが確保されていれば、鉄筋の発錆、腐食の危険性は現状では少ないと判断される。しかし、施工誤差によるかぶり厚さの少ないところでは、鉄筋の発錆が生じる可能性があること、塩化物イオンが徐々に内部に平均化していくことなどから、外壁の保護機能を高め、今後の塩害を抑制する対策工事を講じることが必要といえる。

【問題2】

①	②	③	④	⑤
カ	キ	ケ	ウ	ア

【問題3】

①	②	③	④	⑤
ウ	ク	ア	カ	ケ

【問題4】

①	②	③	④	⑤
オ	キ	カ	ケ	イ

【問題5】 解答例：

- ・ピロティの柱の炭素繊維巻き補強
- ・ピロティの鉄骨ブレス補強
- ・ピロティの耐震壁増設補強
- ・ピロティの制震ダンパー設置による制震補強
- ・妻壁へのバットレス補強
- ・ベランダ側の外付けフレーム補強
- ・基礎の免震補強
- ・壁の増し打ち補強 等

第6回（平成19年2月） ≪ 択一式試験問題解答 ≫

問1	1	問11	4	問21	2	問31	2	問41	3
問2	3	問12	4	問22	3	問32	1	問42	4
問3	2	問13	3	問23	2	問33	3	問43	3
問4	3	問14	4	問24	1	問34	4	問44	2
問5	1	問15	2	問25	2	問35	4	問45	1
問6	1	問16	2	問26	3	問36	2	問46	4
問7	2	問17	4	問27	4	問37	1	問47	4
問8	4	問18	1	問28	1	問38	3	問48	2
問9	1	問19	3	問29	2	問39	2	問49	3
問10	4	問20	4	問30	1	問40	1	問50	1

第6回（平成19年2月） ≪ 記述式試験問題解答 ≫

【問題1】 解答例：

単位水量の多い軟練りコンクリートの採用（生コンの水増し）・養生不良（早期乾燥、湿潤不良）
 ・鉄筋かぶり厚さ不足・膨張骨材の使用・未洗浄海砂の使用・配筋位置の不良・締め固め不足・
 強度不足 等

【問題2】

	1月目			2月目			3月目			4月目			
仮設工事	—————									—————			
下地補修工事		—————						- - - - -					
壁面関係塗装工事			- - - - -						—————				
鉄部関係塗装工事			—————			- - - - -			—————				
バルコニー防水工事						- - - - -			—————				
屋根防水工事			- - - - -			—————			- - - - -				
シーリング工事		- - - - -											

【問題3】

①	②	③	④	⑤
イ	ウ	オ	ウ	ウ

【問題4】

①	②	③	④	⑤
カ	ウ	キ	ア	オ

【問題5】

①	②	③	④	⑤
ウ	キ	ケ	ウ	キ

第5回（平成18年2月） ≪ 択一式試験問題解答 ≫

問1	1	問11	2	問21	1	問31	4	問41	3
問2	3	問12	4	問22	4	問32	3	問42	4
問3	1	問13	3	問23	3	問33	1	問43	4
問4	1	問14	2	問24	1	問34	2	問44	1
問5	2	問15	4	問25	4	問35	3	問45	4
問6	1	問16	2	問26	2	問36	4	問46	1
問7	1	問17	3	問27	4	問37	3	問47	4
問8	3	問18	2	問28	3	問38	2	問48	3
問9	2	問19	3	問29	3	問39	2	問49	2
問10	2	問20	4	問30	2	問40	1	問50	1

≪

第5回（平成18年2月） ≪ 記述式試験問題解答 ≫

【問題1】 解答例：

異常凝結性のセメントの使用・泥分の多い骨材の使用・著しく速い打設速度・型枠のはらみ・支柱の沈下・初期養生の不良・初期の積載、振動、衝撃・配筋、配管のかぶり不足・コールドジョイント・建物の不同沈下・強度不足・コンクリートの断面不足・鉄筋の発錆・凍害・オーバーロード 等

【問題2】 解答例：

付近見取図・配置図・仕様書・各階平面図・二面以上の立面図・断面図又は矩計図・基礎伏図・各階床伏図・小屋伏図・構造詳細図・構造計算書その他、建物及びその附属施設（駐車場、公園、緑地、及び広場並びに電気設備及び機械設備を含む。）に係る図書とあるため、外構図、電気設備図、給排水衛生設備図も正解としています。

【問題3】

①	②	③	④	⑤
エ	イ	キ	コ	セ

【問題4】

①	②	③	④	⑤
ウ	オ	ケ	コ	セ

【問題5】 解答例：

コンクリート系マンションの寿命（耐用年数）としては、①税法上の考え方（財務省令による減価償却年数47年）、②日本建築学会・建築工事標準仕様書 JASS 5「鉄筋コンクリート工事」による計画供用期間の級で、一般（コンクリート強度18N以上）約65年、標準（コンクリート強度24N以上）約100年という考え方、③中性化、塩害などによる外的要因、④修繕による延命、その他、⑤社会的・機能的劣化による陳腐化要因などを設定年数との整合性で判定しています。

第4回（平成17年2月） ≪ 択一式試験問題解答 ≫

問1	2	問11	2	問21	3	問31	2	問41	2
問2	1	問12	4	問22	4	問32	2	問42	2
問3	4	問13	3	問23	2	問33	1	問43	4
問4	3	問14	3	問24	4	問34	4	問44	1
問5	4	問15	4	問25	1	問35	1	問45	4
問6	4	問16	1	問26	3	問36	4	問46	3
問7	1	問17	3	問27	4	問37	2	問47	2
問8	全て正解	問18	1	問28	1	問38	3	問48	4
問9	1	問19	2	問29	1	問39	1	問49	1
問10	2	問20	2	問30	3	問40	3	問50	3

第4回（平成17年2月） ≪ 記述式試験問題解答 ≫

【問題1】 模範解答例：

モルタル浮き部補修・伸縮目地撤去・伸縮目地（通気目地）新設・下地清掃・樹脂モルタル塗布・勾配調整・ドレン廻り補修・雑草除去等

【問題2】

①	②	③	④	⑤
エ	カ	ウ	キ	ア

【問題3】

①	②	③	④	⑤
キ	オ	ケ	イ	ア

【問題4】

①	②	③	④	⑤
イ	エ	ス	キ	ケ

【問題5】 模範解答例：

- ・名称をマンション標準管理規約に改訂した。
- ・マンション管理における専門的知識を有するものの活用に関する規定の新設。
- ・建て替えに係る合意形成に必要となる事項の調査に関する業務を追加。
- ・共用部分の変更について、普通決議で実施可能な範囲を「その形状又は効用の著しい変更を伴わないもの」と規定。
- ・電磁的記録に関する規定を整備した。
- ・修繕履歴などの整理及び管理を管理組合の業務として規定した。
- ・居住者間のコミュニティ形成を規定した。
- ・窓、玄関扉など開口部の工事に関する規定を整備した。
- ・共用、専有部分の範囲をより詳細に規定した。等